

## 学習会「改憲手続き法案とその狙い」(4/14) 56名が会場をうめる。

4月14日の学習会では、講師の弁護士・四位直毅氏が、昨日の改憲手続法の採決強行は、安倍首相の九条改憲のスケジュールを優先したもので、その内容は不公正で非民主的であることを民主党案も含めて詳しく説明。この流れは世界の動きに逆行しており、最近の世論調査や9条の会が全国で六千を超えて発展していることなど、海外で戦争をする国にすることはごめんだとの世論がじわじわと広がっていると具体的な事例を挙げて話しました。

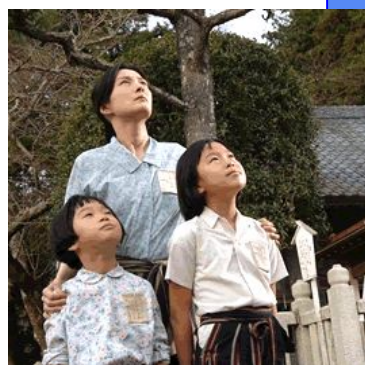


衆議院での採決強行に対して「改憲手続き法案の採決強行に強く抗議し、憲法九条を守る決議」を採択しました。講演に先立ち劇映画「日本の青空」ダイジェスト版が上映され、六月二日のキララホールでの同映画上映成功を目指す運動の紹介がありました。参加者は「賛成派が多数では仕方がないのかと思いましたが、お話を聞いて明るくなりました」「狭い視野で見るのではなく、広い視野にたって九条を守る運動を進めることが大切と思った」などと話していました。

### 劇映画「日本の青空」の 上映運動 を進めます

原作・脚本の池田太郎さんはあきる野市野辺にお住まいです。映画の中には劇中劇で五日市憲法も

劇映画「日本の青空」を  
みましょう。  
6月2日(土)  
2時~と6時~  
キララホール



登場します。あきる野市で上映するにふさわしい映画ですので6月2日にはぜひ

多くの皆様にみていただきたいと思ひます。

### 劇映画「日本の青空」 有料試写会と みる会発足会のご案内

日時：4月28日(土) 午後2時から5時まで  
会場：あきる野ルピア ホール。内容：同映画の上映とみる会の発足会をおこないます。主催：劇映画「日本の青空」をみるあきる野の会準備会。参加：製作協力券をお持ちの方(券なし1500円、券なしでみる会の上映運動にご協力いただける方は受付でお申し付けください)

### ● 上映運動に皆さまのご協力を

9条の会はみる会に参加、上映を推進します。

1. 宣伝へのご協力(ポスターの掲示、チラシなどの配付、宣伝カーの運行など)
2. チケットの販売(前売券1200円、学割券・中～大学生800円)、5枚、10枚の単位でお預かりいただき広めてください。
3. 6月2日当日の受付や会場整理などの要員①午後組1時～5時、②夜組5時～9時、各15人以上募集します。
4. 実行委員会への参加他

ご協力くださる方は  
事務局へご連絡を

**【お便り】** ある9条の会会報に「高校の始業式で校長が『迷いに迷ったが』として『憲法9条が改悪されたら、世界平和のためという名のもと、戦場に行くのは皆さんなんです。そのことをしっかりと心にとめ、政治から眼を離さないでください』と…。私は感動を覚え、元気が出た」(要旨)と載っていたので、みなさんにも元気をお分けしたい。上からのプレッシャーを感じながら、この国がどんどん危険な方向に進んでいると思い、一番影響を受けるのが目の前にいる生徒たちと考えて、一歩前に踏み出した、その勇気をたたえたいと思う。(SKさん・高尾)

**【訃報】** あきる野9条の会の代表の一人で戦争を語りつぐ会の野武雅之さん(伊奈)がお亡くなりになりました。また、昨年末には呼びかけ人の上原富十郎さん(草花)、米澤菊江さん(秋留)がお亡くなりになりました。心からお悔やみ申し上げます。

# 戦争を語りつくす会

## 戦争体験記 大募集！



語りつくす会では賛同者に訴え入りの原稿用紙を配布し体験記を募集しています。現在16名19編が集まっています。体験をぜひお書きください。

### ▼ 手記「戦争体験」

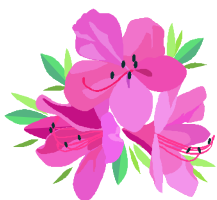
#### 「友義、横を見ないで歩きなさい！」

森下友義（小中野）

3月10日早朝の空襲のとき、亀戸駅のプラットホームを風避けにし、線路上で助かりました。私の家は亀戸天神の近くで、蔵前通りに面した家で和菓子屋を営んでいました。でも私の記憶では、あの小さな店舗が兵器を作る町工場になっていました。

三月九日夜遅く空襲になりました。風が強い日でした。火災が発生し、火の子が渦になって屋根の上を歩いていきました。隣の本屋さんは大八車に荷物をまとめて、予め決められていた避難場所へ行きました。私の家は避難が遅れ、加えて父は残ることになり、母と子ども五人で避難をはじめました。行く先々は家々が燃え、崩れてくるので、路地を曲がり曲がり逃げました。亀戸駅の土手の下にたどり着き、どぶ川を渡り土手を登りました。プラットホームを風避けにし、身を屈めていました。枕木が燃え出すと、線路の下のジャリをかけて消しました。後で聞いた話ですが、衣服に火がつき火だるまになった人は、土手の下へ突き落とされたとのことでした。

朝になり真っ赤な太陽が昇りました。眼はこびりつき、すぐには開けられませんでした。家族は皆いました。焼け野原の中、家に向かいました。「友義、横を見ないで歩きなさい」と言われました。その通りにしましたが、黒い人形みたいな死体が眼に入りました。父は生きていました。数人で火を囲んでいました。父は天神様の池の中で助かりました。鉄兜で頭に水をかけながら一夜を過ごしたそうです。後になって知りましたが、隣の本屋さんは避難場所に火が入り一家九人全員焼死したとのことでした。この家族に私より一年下の女の子がいました。私がよく職員室前で立たされていたことを告げ口する子でした。私のふるさとはなくなりました。



#### 真夜中に叩き起こされ

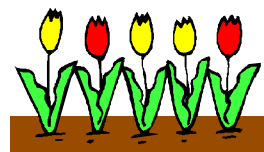
西川 昇（引田）

1945年3月10日未明に荒川区の家で東京大空襲に見舞われる。私は小学校入学直前の六歳だった。真夜中に叩き起こされ、四歳の弟と二人、母に手を引かれて近所の空き地に避難する。あたり一面火の海で空は真っ赤に燃えている。明け方の寒さにガタ

ガタ震えながら一夜を過ごす。燃えるような真っ赤な太陽が昇るころには、わが家を含めてあたり一面焼け野原であった。炊き出しのおにぎりがおいしかったことを今でも思い出す。縁故疎開で小学四年の兄と小学一年の私は母の実家（足利市）に預けられ、終戦の8月15日まで過ごす。「食べてはダメ」といわれた青梅を食べてひどい下痢に見舞われたり、貴重な手拭を紛失してしまい罰としてその晩の食事を与えられなかったことは今でも悲しい思い出だ。夏休みのため家族が疎開中の葛飾区で8月15日を迎える。昼食のサツマイモを食べながら「玉音放送」を聞く。姉や兄たちが敗戦を知っていないのを見て、何がなにやら訳がわからなかったが、親から家に帰れると聞いて大喜びしたことは、今でも懐かしく思い出される。

#### 小石川の伯父さん

水谷 正良（雨間）



私の父は静岡の出身でした。小さいときに祖父が亡くなり、幼い兄弟は離ればなれになり、父はお寺にやられました。

父の兄に倉吉さんという方がいて、一人で東京に出て神田の大きな本屋さんに住み込みで働きはじめました。長年の苦勞の末、小石川で小さい本屋を始めることができたのです。

私の父はどうしてもお寺が嫌で、何年かたったとき伯父を頼りに上京し、無線電信の資格をとり、逓信省に勤めました。その間、どれ程伯父さんの世話になったかわかりません。

小石川の伯父さんはときどき大きな風呂敷包みを背負って私の家に訪ねてきました。その中に私が長く愛読した吉川英治の「三国志」十数巻があり劉備玄德や関羽、張飛の物語は何回も読み返しました。中学二年のとき肺炎で長く患ったときなど、その本だけが楽しみでした。

3月10日の東京大空襲は有名ですが、他にも何回も東京が空襲でやられました。確か5月27日に神田や小石川が激しい空襲を受けました。まじめで責任感の強い伯父は、先頭に立って焼夷弾と闘っていましたが、突然すぐそばの電柱が焼けくずれて大火傷を負ったのです。火傷だけでなくそれがもとで破傷風になり特効薬があれば助かるのですがそれもなく、私がお見舞いに行った時は意識ももうろうとしていて、僅かに口を動かすだけでした。

三国志は私への遺品となりました。また、「基本物理学」という参考書は難しい入試合格の助けになり、伯父さんの力だと思っています。硫黄島で戦死した体育の小沢先生、東京大空襲で亡くなった英語の野村先生……。私のまわりの多くの方が戦争で亡くなりました。その中でも小石川の伯父さんは、忘れられない方でした。

A9ニュースでは、皆様の投稿をお待ちしています。投稿は紙面の関係で主旨を変えずに短くすることがあります。（事務局までお寄せください）